

# 火焰土器

×

# 津軽三味線

— 縄文への響き —

数千年の時を超え、火焰土器と出会った津軽三味線。  
二つの日本文化がどのように融合するのか。  
歴史博物館で、ぜひ体感してみてください。

日時

平成 27 年 11 月 1 日 (日)  
11:00 ~ 12:00

場所

新潟県立歴史博物館常設展示室  
常設展示ロビー集合

津軽三味線奏者 **山上 進** さん

解説 **小林達雄** 名誉館長

申込不要

〈奏者プロフィール〉

**山上 進** (やまがみ すずむ)

昭和 32 年生。青森県出身。小学 3 年の時、ギターに興味をもち、高校時代にはロックバンドを結成。10 代の頃から津軽三味線奏者として才覚を現し、ギター、横笛、尺八と芸域を広げ、プロの登壇。ヤマハホビュラーソングコンテストに 2 度出場。昭和 51 年世界歌謡祭では、津軽三味線で特別演奏出演。この頃、アメリカ、ロシア、ブラジル、ヨーロッパなどでの海外演奏活動を開始する。ニューミュージックアーティストの矢野顕子氏（青森県出身）のアルバムでの演奏をはじめ、伊奈かつべい氏のオールバック演奏も担当。近年は、古典楽器やシンセサイザーなどとの共演とおして、津軽三味線の伝統を守りつつ、新しい分野を見出す活動も行っている。安方みなとフェスティバルでは、アメリカ、カナダのブルースミュージシャンとの競演などで、海外アーティストからの注目を集める。平成 24 年度にイギリスの大英博物館で開催された「日本の先史土器の芸術・火焰土器展」のレセプションでは、縄文をモチーフとしたオリジナル曲を演奏した。その一方、津軽三味線の後継者育成にも力を注いでいる。ふるさと言葉でのおしゃべりなど温かみのある演奏活動には定評がある。



©小林茂

※常設展の観覧料のみ必要となります (ただし中学生以下無料)



新潟県立歴史博物館

The Niigata Prefectural Museum of History

主催 新潟県立歴史博物館友の会 共催 新潟県立歴史博物館

長岡市関原町 1 丁目字権現堂 2247 番 2 ☎0258-47-6130  
mail koryu@nbz.or.jp FAX 0258-47-6136